

琴平支部だより

2020年9月14日

No. 38

香川医療生協琴平支部

TEL 75-2943

新型コロナと猛暑の夏！

組合員の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

今年の夏は新型ウイルス感染症の流行と記録的な猛暑という今までに経験したことのない夏を迎えました。毎日が35°C以上、ある県では40°Cを超えるという驚くような気温が報道されました。そんな中、外出先ではマスクをつけ、口の周囲は汗だらけ、熱中症予防に水は欠かせません。屋内では、コロナ予防に換気をとの指示。しかし冷房はいれておかないと暑くて倒れそうになります。本当にどう過ごせばよいのやらという夏です。台風は香川では無事通り過ぎほっとしていますが、まだまだ暑さは続くようです。お互いに健康に留意して夏を乗り越えましょう。

さて、琴平支部も8月は夏休みとなり9月から活動を再開します。今回の支部ニュースには、7、8月の行事を掲載しました。

[7月]

14日 コープ「るるぶ」の開所式

元コープ歯科丸亀が、この度新しく医療生協の地域センターとして再出発します。開所式にはコロナ感染症のため人数制限をして参加者は30名でした。

最初に高木理事のあいさつがあり、その後丸亀で活躍している音楽グループ「四つ葉のクローバー」さんがギターやキーボードを中心美しい歌声を聞かせてくれました。最後には私たち参加者も一緒に手話を使った合唱で終わりました。次に腹話術の津田さんがかわいい人形とのかけ合いでみんなを笑顔にしてくれました。最後に参加者全員で百歳体操をして閉会としました。閉会のあいさつは三好理事がしました。

27日 焼き肉のタレづくり

今年も町総合センター2階調理室で焼き肉のタレづくりをしました。参加者は9名。昨年に続いた行事なので、みんな慣れた手つきで作っていました。



きで手際よく作業をしていました。

昨年と異なり、今年は容器にラベルを貼り、一段と商品らしくなりました。で
きあがったタレはおかげで完売できました。

8月

7日～9日 —「原爆と人間」写真展 —

今年もACTことひらにて原爆写真展が開催されました。連日35°Cを超える猛暑で戸外に出ると強い日射しに失神しそうでした。原爆投下の日もこんな暑い日だったのでしょうか。さて広島、長崎への原爆投下の日から75年、その惨禍と戦争体験を風化させないという思いから毎年被爆当時の写真展を開催しています。今年は新型コロナ感染症流行のため「3密」をさけ、マスク着用、アルコール消毒等予防対策を徹底しての開催でした。今年の来場者は3日間で73名でした。2日目、3日目の午後には「戦争体験を語り合う集い」を開き参加者にご自身の戦争体験や聞いたこと、感想、ご意見などを話し合って頂きました。参加者は19名、ほとんどが中・高年の方で、若い方が1名参加してくれました。、それぞれの戦争体験談は、戦争中の恐怖、生活の苦労、貧困、食糧難などが語られましたがその中で誰もが口にすることは「戦争は二度としてはいけない！」ということでした。1年に1度はこうして「戦争」を振り返り、普通の生活ができる現在の「平和」を考えてみると大切なことだとつくづく感じました。尚、全体募金が10,200円集まりました。チラシ印刷代 やしんぶん折り込み代に使用させて頂きます。ご協力大変ありがとうございました。

